

■ 銘柄: Energy ■

氏名: 越村 朋弘

夜間市場もこの調子で



■ コメント ■

連休明け初日の東京ガソリン市場日中立会いは、前営業日比+5,430円の44,440円で終了となる。国内休場中に5ドル以上の上昇を演じたNYを受け、寄付き早々にCB(サーキットブレーカー)発動となる。2度の値幅拡大により本日のような上げ幅となったわけであるが、時間外の上昇分を考慮した換算値で見れば妥当な上昇である。それよりも2,670円という高低差に幾分驚かされた。

商品全面高となる中、東京株式市場では日経平均が408円33銭の大幅高となり、1/7の年初来高値を更新し、9,385円70銭となっている。注目されるストレステストの結果に対し、市場の見方は五分五分といったところ。日本時間8日5:15に、ガイトナー米財務長官とバーナンキFRB議長が会見を行い、内容の解禁は6:00とのこと。こちらは結果待ちとし、今のところは米景気の底打ち期待が先行している模様。

いずれにしろ、今回の上昇により実線は雲の下から一気に雲の上空へ。長期(50日)、更には中期(25日)の移動平均を同時にブレイクする始末である。RSIも33.4%から61.6%へと僅か1日でトレンド転換。

連休前に直近高値の45,970円を目標値としたが、対等数値より9営業日後をその到達点としたわけであるが、ここまでの速さは想定外である。新ルールによりもうすぐ夜間取引がスタートする。朝もコメントさせて頂いたとおり、NY原油の64.94ドルを視野に入れ、積極的に買いたいところ。(16:48記 越村)

■ テクニカル ■

基準線(26)	41,620円
転換線(9)	40,760円
先行スパンA(26)	41,293円
先行スパンB(52)	39,630円
遅行線(26)	44,370円

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。